

## 北海道 教職教養実施問題速報 (2024年6月16日実施)

### [出題傾向]

昨年までと解答する問題数は40問と実質の変更はないが、昨年まで大問10問で小問2問ずつの構成だった出題方法を変更している。なお、一般教養、教職教養の問題が半々のという点に変わりはない。

学習指導要領は5問と昨年同様に多かったが、昨年出題が少なかった教育法規、出題がなかった教育史がともに4問出題されていた。教育心理も同様に4問出題されている。一方で、昨年4問出題されていた生徒指導が1問と大幅に減っている。教育原理も2問と少ない。出題分野は今後変動する可能性が十分考えられるので、幅広く対策しておく必要がある。

### [出題例]

【1】 次の各文は、「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」(令和3年法律第57号)第4条に規定された「基本理念」からの抜粋である。下線部の内容が適切なものの組合せを、下のア～エの中からの一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、教育職員等による児童生徒性暴力等が被害を受けた児童生徒等の心身の健全な発達に関係する重大な問題であるという基本的な認識の下に行われなければならない。
- ② 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、児童生徒等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校内における教育職員等による児童生徒性暴力等を根絶することを旨として行われなければならない。
- ③ 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策、被害を受けた児童生徒等を適切かつ迅速に保護することを旨として行われなければならない。
- ④ 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、(中略)児童生徒等及びその保護者からの教育職員等に対する信頼を著しく低下させ、学校教育の信用を傷つけるものであることに鑑み、児童生徒性暴力等をした教育職員等に対する懲戒処分等について、適正かつ厳格な実施の徹底を図るための措置がとられることを旨として行われなければならない。

ア ①②    イ ②③    ウ ③④    エ ①④

【2】 次の文は、「生徒指導提要」(令和4年12月文部科学省)からの抜粋である。文中の空欄 [ ① ], [ ② ] に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エ

の中から一つ選んで記号で答えなさい。

#### 生徒指導の目的

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる〔①〕を支えることを目的とする。

生徒指導において発達を支えるとは、児童生徒の心理面(自信・自己肯定感等)の発達のみならず、学習面(興味・関心・学習意欲等)、社会面(人間関係・集団適応等)、進路面(進路意識・将来展望等)、健康面(生活習慣・メンタルヘルス等)の発達を含む包括的なものです。

また、生徒指導の目的を達成するためには、児童生徒一人一人が〔②〕を身に付けることが重要です。児童生徒が、深い自己理解に基づき、「何をしたいのか」、「何をすべきか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力、すなわち、「〔②〕」を獲得することが目指されます。

	①	②
ア	他者理解	自己決定力
イ	他者理解	自己指導能力
ウ	自己実現	自己決定力
エ	自己実現	自己指導能力

#### [解答解説]

##### 【1】ウ

- 〈解説〉① 「被害を受けた児童生徒等の…」ではなく「全ての児童生徒等の…」が正しい。  
② 「学校内における教育職員等…」ではなく「学校の内外を問わず教育職員等」が正しい。

##### 【2】エ

〈解説〉生徒指導の目的は、教育課程の内外を問わず、学校が提供する全ての教育活動の中で児童生徒の人格が尊重され、個性の発見とよさや可能性の伸長を児童生徒自らが図りながら、多様な社会的資質・能力を獲得し、自らの資質・能力を適切に行使して自己実現を果たすべく、自己の幸福と社会の発展を児童生徒自らが追求することを支えるところに求められるとされている。